

2023年6月6日



各位

会社名 株式会社テクノメディカ
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知
(コード：6678、東証プライム)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 津川 和人
(TEL. 045-948-1961)

上場維持基準への適合に向けた計画書に基づく進捗状況および
流通株式時価総額基準への適合に向けた計画書の更新について

当社は、2022年12月末時点において、株式会社東京証券取引所のプライム市場における上場維持基準のうち「1日平均売買代金」の基準を満たさず、プライム市場の上場維持基準に適合しない状態となったことから、2023年3月17日に、上場維持基準の適合に向けた計画書を提出いたしました。

このたび、新たに「流通株式時価総額」の基準を満たさないこととなったため、適合に向けた方針をお知らせするとともに、上記の計画の進捗状況について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 適合状況

		流通株式時価総額	1日平均売買代金
プライム市場 上場維持基準		100億円	0.2億円
当社の状況	2022年12月末時点	—	11,076,508円
	2023年3月末時点	9,846,898,250円	—
適合状況		×	×

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出したものです。

2. 計画期間

当社は2023中期経営計画の最終年度を2025年度としております。この期間中を計画期間として、流通株式時価総額は2026年3月末まで、1日平均売買代金は2025年12月末までに、上場維持基準を充たすための各種の取り組みを進めてまいります。

3. 取組の基本方針、課題及び取組内容

詳細は、別紙「上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載の通りです。

以上

上場維持基準の適合に向けた計画書

2023年6月6日

株式会社テクノメディカ

1. 適合状況と計画期間

当社は、2023年3月末日時点で、プライム市場の上場維持基準のうち「流通株式時価総額」「1日平均売買代金」の基準を満たしておりません。

	流通株式時価総額 (2023年3月時点)	1日平均売買代金 (2022年1月~12月)
上場維持基準	100億円以上	0.2億円以上
当社の状況	9,846,898,250円	11,076,508円

この状況を改善するため、流通株式時価総額については2026年3月末までに、1日平均売買代金は2025年12月末までに、それぞれ上場維持基準を充たすため、以下の通り各種の取り組みを進めてまいります。

2. 取り組みの実施状況および評価

- ・3月17日の計画書の時点で「策定中」としていた、2023中期経営計画※を公表しました。今後、各部門がこの計画で設定された目標を目指す事で、企業価値の向上を図ります。

※2023中期経営計画：<https://www.technomedica.co.jp/t01/files/ir/2023%E4%B8%AD%E6%9C%9F%E7%B5%8C%E5%96%B6%E8%A8%88%E7%94%BB.pdf>

- ・2023年5月11日、自己株式400,000株の取得を実施しました。今後も機動的な資本政策の遂行を通じて、積極的な株主還元を図ってまいります。
- ・2023年3月期の期末配当について、配当予想を55円としておりましたが、5月10日の取締役会で「60円」として株主総会に上程することを決議しました。当社は引き続き、株主の皆様へ、業績に裏付けられた持続的・安定的な利益還元を継続してまいります。

これらの施策を実施する中で、引き続き売買高の増加に向けて各種の取り組みを進めてまいります。

3. 上場維持基準適合に向けた基本方針

当社は、2023中期経営計画を作成・公表いたしました。

この計画を着実に実行することで、企業価値を向上し、上場維持基準の達成を目指します。

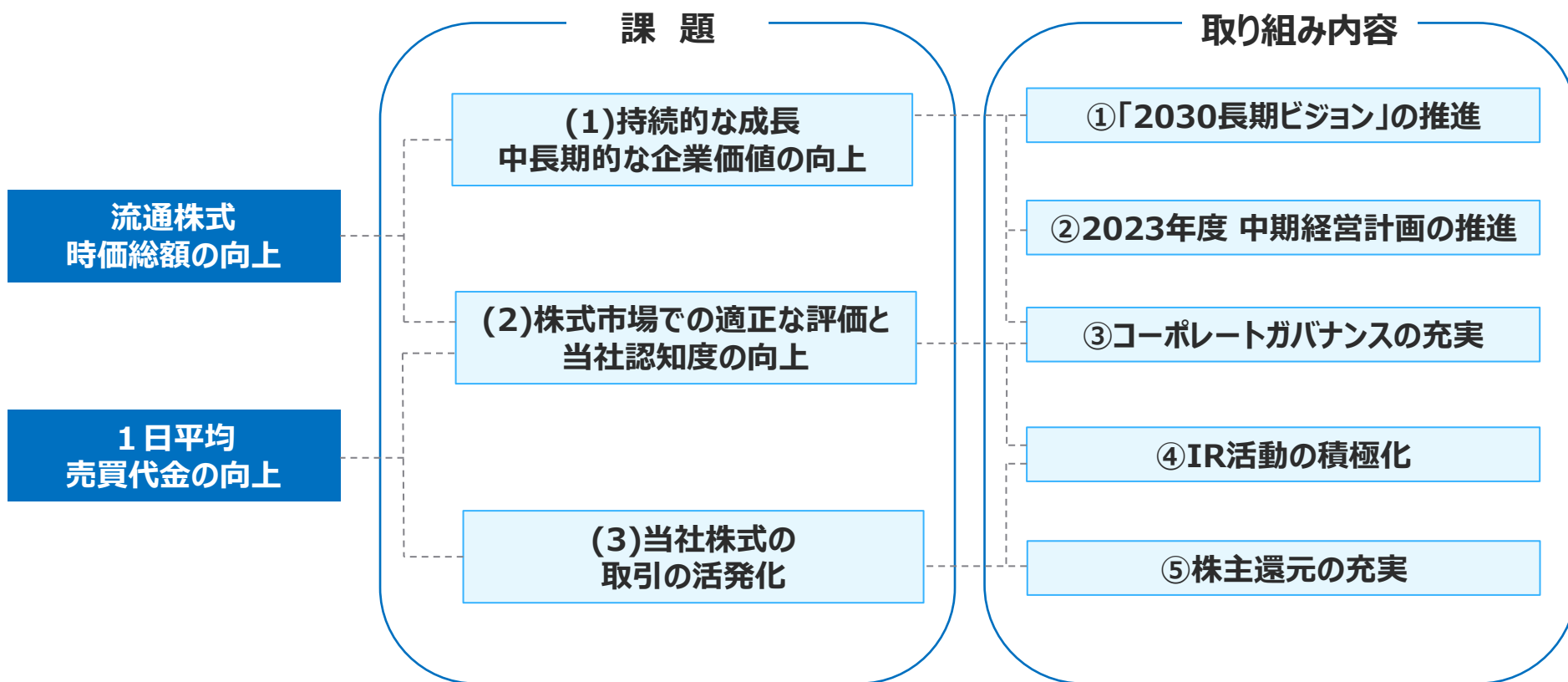
<2023中期経営計画策定方針>

- ① 「2030長期ビジョン」を見据え、更なる発展への転換を図る。 ※「2030長期ビジョン」の詳細は別紙
- ② 持続的成長へ向けたビジネスモデルの変革を図る。
- ③ ESG（環境・社会・企業統治）視点での事業を通じた社会的課題解決への貢献を行う。
- ④ 「2030長期ビジョン」達成のための人材価値の最大化を図る。

同時に、情報開示の充実を図り、より広く投資家の皆様に認知をいただけるよう、積極的なIR活動に取り組んでまいります。

4. 課題と取り組み内容

上場基準を達成するための課題と取り組み内容は、以下の通りです。



5. 具体的な取り組み内容

(1) 持続的な成長・中長期的な企業価値の向上のための取り組み

①「2030長期ビジョン」の推進

当社は「2030長期ビジョン」を策定・公表しております。

2030長期ビジョン： <https://www.technomedica.co.jp/t01/files/ir/2030%E9%95%B7%E6%9C%9F%E3%83%93%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3.pdf>

これらの取り組みを通じて、持続可能な成長・発展を目指してまいります。

【概要】

当社が考える10年後の社会像に対し、健康、医療分野でどのように貢献ができるのかチャレンジを続けてまいります。具体的な取り組み内容は以下の通りです。

- ・使用する原材料の削減
- ・ロボットシステム普及に貢献する技術や製品の開発、ソリューションの提供
- ・消耗品事業のプラスチック製品から紙製品への転換
- ・感染予防対策に資する製品の開発、提供
- ・自社ビル内節電策、太陽光発電の活用、産業廃棄物のミニマム化
- ・女性人材の活躍の場の提供
- ・人的資本を重視する経営方策 …

5. 具体的な取り組み内容

(1) 持続的な成長・中長期的な企業価値の向上のための取り組み

②2023中期経営計画の推進

当社は、以下の通り「2023年度 中期経営計画」を作成・公表いたしました。

<計画の概要>

- 2023年度以降の3ヶ年合計の目標数値を、売上高308億円、営業利益45億円、売上高営業利益率14.6%とする。売上高においては、2020年度以降の3ヶ年における実績を10%程度上回る目標設定で、着実な成長を目指す。
- 研究開発費をはじめ、生産設備の補強やSDGs対応のための積極的な投資を実施。
- 財務・人材・営業・生産技術・研究開発の各部門でも、それぞれに計画を策定。事業構造の転換を図り「2030長期ビジョン」の達成につなげて行く。

この計画の推進を通じて、持続的な成長・中長期的な企業価値の向上に取り組むことで、上場維持基準の達成を目指してまいります。

5. 具体的な取り組み内容

(2) 株式市場での適正な評価と当社認知度の向上のための取り組み

③コーポレートガバナンスの充実

コーポレート・ガバナンスの更なる充実のための取り組みとして

✓ 招集通知の英訳／議決権のオンライン行使（2021年6月より）

✓ 議決権プラットフォームの採用（2022年6月より）

上記を実施し、議決権行使の環境整備を図っております。

その他、取締役や従業員に対する譲渡制限株式の付与等を適宜実施し、役職員が株主の皆様と同じ視点を持ち、日々の経営・業務に取り組むことで、企業価値の向上を目指してまいります。

5. 具体的な取り組み内容

(2) 株式市場での適正な評価と当社認知度の向上のための取り組み

④IR活動の積極化

当社はこれまで、投資家の皆様からのお問合せへの対応等を通じて、IR活動に取り組んでまいりました。今後は一層IR活動を積極化し、当社へのご理解を深めていただくよう努めてまいります。これを通じて当社の認知度の向上を図るとともに、株価の向上、当社株式の取引活発化を目指してまいります。

✓決算説明会の内容充実（年2回／中間・期末）

従来より実施している機関投資家向け説明会において、これまで以上に開示情報を充実し対話を重視した内容を目指すことで、当社に対する理解促進に努めてまいります。

✓ホームページのIR情報の充実

投資判断にお役立ていただける情報をより多く掲載し、積極的な情報発信を行ってまいります。また、英文資料の開示内容についても充実を図ってまいります。

✓個人投資家の問い合わせへの対応

個人投資家の皆様による個々のお問い合わせについても、これまで以上に真摯に対応いたします。

5. 具体的な取り組み内容

(3) 当社株式の取引の活発化

⑤ 株主還元の充実

<株主還元方針>

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つと位置付けし、経営環境、業績に裏付けられた成果の配分と、内部留保の決定を行うことを基本方針としています。

これまで安定配当を維持するとともに、配当性向30～40%を目安に実施して参りました。

今後、中長期的には、配当性向30～40%の目安に加えて、総還元性向50%を実現することを目指して参ります。

<自己株式の取得>

株主還元のための施策の一環として、自己株式の取得を実施すべく、検討を進めて参ります。